

「投票率の向上対策」に係る  
政策提言のための中間報告書

令和2年7月31日  
大分市議会議員政策研究会

大分市議会議員政策研究会は、政策的条例案の策定や市長に対する政策提言を行うため、平成19年に設置し、平成20年に「大分市議会基本条例」、平成23年に「大分市子ども条例」、平成27年に「大分市民のころといのちを守る条例」、平成30年に「大分市健康づくり推進条例」を制定するほか、平成24年に災害対策に関して市長への提言を行うなど、これまで市民本位の立場から会派を超えて全議員で政策研究に取り組んできました。

今回の政策課題の選定に当たっては、平成31年4月に行われた県知事、県議会議員選挙や市長選挙において投票率が過去最低水準に低下する等、選挙の投票率が年々低下している背景を踏まえ、その現状を改善するため、投票に行きやすい環境づくりなど投票率の向上のために有効と考えられる取組について議会から市長に提言を行うこととし、政策課題を「投票率の向上対策」に係る政策提言に決定しました。

これまで政策提言に向けて、関係者と意見交換を行うなど調査研究に取り組んできましたが、このたび中間報告として取りまとめましたので、その経過と結果について報告します。

# 目 次

1 調査の経過	1
(1) 会議の開催	
(2) 意見交換の実施	
(3) 視察調査	
(4) 全体研修会	
2 提 言(案)	3
(1) 投票環境の整備に関する事	
(2) 投票方法の改善に関する事	
(3) 選挙啓発や若年層への教育等に係る取組に関する事	
3 む す び	6
資 料	7

## 1 調査の経過

### (1) 会議の開催

令和元年7月16日、全体会議において政策課題を「投票率の向上対策」に係る政策提言とすることに決定しました。

政策課題を具体的に調査研究する推進チームでは、大分市選挙管理委員会事務局から本市の投票率の状況等について説明を受けるほか、市民や学生、関係者等との意見交換を行うなど、これまで14回の推進チーム会議を行ってきました。また、5回の役員会議、3回の全体会議を重ねながら、議会全体で議論を行ってきました。

(会議の回数は7月31日現在)

### (2) 意見交換の実施

「投票率の向上対策」について、大分大学経済学部の学生をはじめ、大分市特養協議会やマスコミ関係者等との意見交換を行いました。

また、令和元年度の市民意見交換会では、「投票率の向上対策」をテーマとして、各地域の市民のみなさまと意見交換を行いました。

※詳細は、7ページをご覧ください。

### (3) 視察調査

「若者をはじめとした市民の政治への関心の高揚及び投票時の利便性向上」について、平成31年3月に提言を行った滋賀県大津市と、共通投票所や移動期日前投票所等の取組を行っている茨城県北茨城市を視察しました。

大津市では提言までの調査研究内容や取組の効果について、北茨城市では共通投票所や移動期日前投票所等の実施までの準備や、実施後の課題、取組の成果等について調査しました。

### (4) 全体研修会

「投票率の向上対策」に係る提言を行うに当たり、全議員が共通の認識を持つことを目的として、令和2年3月26日、NPO法人 NEXT CONEXION 理事長の越智大貴氏を講師として招聘し、全体研修会を実施しました。

講演では、主権者教育に関するこれまでの取組等について貴重な話を伺いました。全体研修会終了後には、推進チームメンバーと講師との意見交換を行いました。

## 2 提言（案）

### (1) 投票環境の整備に関すること

#### ① 投票所の設置について

投票者の利便性向上のため、次に掲げる投票所について、設置場所、設置数、二重投票防止策等に関し、既に導入している他都市の事例等を調査研究し、設置に向けて検討すること。

ア 共通投票所（※1）の設置

イ 投票に行きやすい場所や、駅や商業施設等の人が多く集まる場所への期日前投票所（※2）の設置

ウ 巡回車両等を活用した移動期日前投票所の設置

（※1）共通投票所とは、選挙期日の当日に、指定された投票所のほか、区域内の方が誰でも投票できる投票所のことをいう。

（※2）期日前投票所とは、公示（告示）日（市長選挙、市議会議員選挙の場合は選挙期日の7日前）の翌日から選挙期日の前日までの間、投票できる投票所のことをいう。

#### ② 投票所までの移動支援について

高齢者等の交通弱者が安心して投票所に行ける手段を確保するため、送迎車両の運行等、投票所までの移動支援について検討すること。

#### ③ 投票所の環境づくりについて

ア 投票所が暗い、入りづらい等の意見が若年層を中心に多く出ていることから、投票所の雰囲気改善など、投票所の環境づくりについて調査研究し、その実施に向けて取り組むこと。

イ 高齢者等への配慮のため、投票所内に設置している候補者名簿を拡大するなどの工夫を行うこと。

## (2) 投票方法の改善に関すること

### ① インターネット投票について

投票所まで行かずに投票することができるインターネット投票について、国の検討状況を把握する等の調査研究を行うこと。

### ② 電子投票（※1）、記号式投票（※2）について

有権者の意思を正確に反映することができ、自書が困難な有権者も容易に投票することができる電子投票、記号式投票について、他都市の事例等の調査研究を行うこと。

(※1) 電子投票とは、投票所において、投票用紙を使用せず、端末を操作することにより候補者を選択し、投票する方法のことをいう。

(※2) 記号式投票とは、投票所において、あらかじめ候補者名等が書かれた投票用紙に○をつけて投票する方法のことをいう。

## (3) 選挙啓発や若年層への教育等に係る取組に関すること

### ① 家庭向けの選挙啓発について

幼少の頃に保護者と一緒に投票に行った記憶が、将来の投票行動につながると考えられるため、親子で投票に行くことを呼びかけるなど、家庭向けの選挙啓発に取り組むこと。

### ② 職場向けの選挙啓発について

職場の協力を得て、政治的中立性の保持のもと、投票行動の呼びかけ等を行ってもらうなど、職場向けの選挙啓発に取り組むこと。

### ③ 地域向けの選挙啓発について

自治会等、地域の関係者の協力を得て、地域住民に対する選挙周知や投票行動の呼びかけ等を行ってもらうなど、地域の関係者向けの選挙啓発に取り組むこと。

### ④ 主権者教育について

社会参画を視野に、政治や選挙への関心を高め、将来の投票行動につながるよう、発達段階に応じた主権者教育を積極的に行うこと。

### ⑤ 住民票の異動に関する周知について

実家を離れて大学等に通う学生は、住民票の異動手続きを行っていないことが多く、それが原因となり投票を行うことができないという現状があるため、住民票の異動に関する周知活動を積極的に取り組むこと。

### ⑥ 選挙広報等情報発信の在り方について

政治や選挙に対する関心が低い傾向にある若年層等への選挙啓発を行うため、選挙広報等の工夫を行うほか、テレビ、新聞、ラジオ等のマスメディアによる広報をより充実させるとともに、SNS等を活用した情報発信に努めること。



### 3 むすび

本研究会は、近年の選挙において投票率が低下していることを受け、その現状を改善するため、さまざまな調査研究を進めています。

今回の中間報告は、投票率の向上対策について、投票環境の整備に関すること、投票方法の改善に関すること、選挙啓発や若年層への教育等に係る取組に関することに対して必要な提言をするものであり、引き続き、市民や関係者等の意見を伺いながら、市民目線に立った調査研究を行い、市長への政策提言を目指します。

なお、投票における安全・安心の確保のため、投票所における新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症への感染防止に向け、適切な対応が十分に図られるよう、求めていきたいと考えております。

また、議会が主体的に取り組んでいく事項についても検討を進めており、公職選挙法等の法律改正が必要と考えられる事項については、国への要望を行うことも検討しているところです。

今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、調査研究を行っていききたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## 「投票率の向上対策」に係る意見交換について

	日時	相手方	場所	参加者
1	R1.10.1	大分県立芸術文化短期大学	(同左)	118名
2	①R1.10.18 ②R1.11.22 ③R2. 1.24	大分大学経済学部	(同左)	24名 (3回とも同数)
3	R1.11.5～10	各地域の市民のみなさま (市民意見交換会)	植田市民行政センター 大南市民センター 鶴崎市民行政センター 坂ノ市市民センター 大分西部公民館 大在市民センター 南大分公民館 大分東部公民館 大分南部公民館 コンパルホール 野津原市民センター 佐賀関市民センター 明治明野公民館	357名 (延べ)
4	R1.11.18	大分県立爽風館高等学校	(同左)	14名
5	R1.12.18	大分市特養協議会	大分市議会	11名
6	R2. 2.25	市政記者等マスコミ関係者	大分市議会	4名